2026

環境報告書

Environmental Report



磐梯まつり
（福島県耶麻郡猪苗代町）

日曹金属化学株式会社
NISSO METALLOCHEMICAL CO., LTD.

2026

環境報告書

Environmental Report

CONTENTS

P2 会社概要

P3 ごあいさつ

P4 お客様・社会の信頼に応えるために
コンプライアンスの徹底
ＣＳＲ活動マネジメントシステム
ＣＳＲ活動の推進
ＣＳＲ関連監査・審査等

P5 主な活動報告
環境保護
〜 省エネルギー
大気や水質の汚染防止
環境負荷低減に貢献する事業取組み
P7 労働安全衛生
労働安全衛生への取組み

P8 ご当地情報（磐梯まつり）
各工場紹介／会津工場・千葉工場



表紙／磐梯まつり

会社概要

商　　号	日曹金属化学株式会社 NISSO METALLOCHEMICAL CO.,LTD.
本　　社	〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町21番7号 HF日本橋兜町ビルディング TEL（03）4586-7890　FAX（03）6774-8498
会津工場	〒969-3393 福島県耶麻郡磐梯町大字磐梯字溜水1372
千葉工場	〒290-0045 千葉県市原市五井南海岸12-32
会津営業所	〒969-3393 福島県耶麻郡磐梯町大字磐梯字溜水1372
創立年月	設立1983年8月
資本金	100百万円

事業内容

❶環境開発事業
高温熱分解法（還元焙焼法・焼却法）により産業廃棄物の無害安定化・減容化（中間処理）を行っています。またフロン破壊事業を行っています。
【処理能力】産業廃棄物：最大 210ｔ／日　フロン破壊：最大処理 4.3ｔ／日

❷非鉄金属事業
電炉業界で発生する製鋼煙灰から回収した亜鉛を原料に、亜鉛・アルミベース合金を製造販売しています。また、有価金属の回収にも取り組んでいます。
【製品】自動車部品等に使用されるダイカスト耐摩耗性亜鉛合金、
JIS亜鉛合金、アルミ亜鉛合金、電気鉛、貴金属

❸工業薬品事業
廃硫酸を基本原料に各種硫酸製品を製造販売しています。
【製品】濃・薄・発煙硫酸、無水硫酸（日曹サルファン）、亜硫曹、重亜硫曹

会社沿革

1928年（昭和 3年）	高田商会大寺製錬所（1916年：大正5年創設）の経営を日本曹達株式会社が継承
1960年（昭和35年）	会津工場でサルファン製造開始
1965年（昭和40年）	日曹金属㈱として日本曹達株式会社より分離独立
1972年（昭和47年）	産業廃棄物処理事業開始（シアン廃液）
1977年（昭和52年）	㈱日曹千葉リファインで廃硫酸から硫酸及び硫酸化合物の製造開始
1980年（昭和55年）	会津環境分析センター設立
1983年（昭和58年）	日曹金属化学株式会社として発足
1991年（平成 3年）	㈱日曹千葉リファイン（現千葉工場）を合併
1997年（平成 9年）	フロン破壊事業開始
2000年（平成12年）	会津工場でISO14001・千葉工場でISO9001認証取得
2002年（平成14年）	会津工場でビスフェノールＳの製造開始
2003年（平成15年）	全社でISO9001認証取得
2017年（平成29年）	会津工場が優良基準適合認定事業所に認定（産業廃棄物処分業）
2018年（平成30年）	会津工場が優良基準適合認定事業所に認定（特別管理産業廃棄物処分業）
2020年（令和 2年）	会津工場新事務棟完成
2021年（令和 3年）	資本金を10億円から1億円に減資（1月26日付）
2022年（令和 4年）	会津工場分析・技術棟完成
2023年（令和 5年）	千葉工場新事務棟完成
2023年（令和 5年）	会津工場で太陽光発電施設を設置
2024年（令和 6年）	千葉工場分解炉更新における環境影響評価 評価書の縦覧
2025年（令和 7年）	千葉工場分解炉更新工事開始





日曹金属化学株式会社 代表取締役社長
（ＣＳＲ推進委員会委員長）
赤川彰一

「飛躍」

平素より格別のご愛顧とご支援を賜り、心より感謝申し上げます。
2026年度「日曹金属化学株式会社 環境報告書」を刊行するにあたり、ご挨拶を申し上げます。

私たち日曹金属化学株式会社は、「持続可能な社会の実現に貢献する」という考えのもと、省エネルギーの推進、廃棄物の削減、資源の有効活用、環境に配慮した製品・サービスの提供など、さまざまな取り組みを継続しています。また、法令遵守はもとより、従業員一人ひとりが環境意識を高め、日々の業務の中で改善を積み重ねることで、環境と事業の両立を目指しています。

地球規模での気候変動や資源の枯渇、生物多様性の喪失といった環境課題は年々深刻さを増しており、企業に求められる役割も一層高まっています。当社は1972年から半世紀以上にわたり廃棄物処理事業に取り組み、高温熱分解処理による産業廃棄物の無害安全化・減容化を推進してまいりました。2017年には会津工場で産業廃棄物処理業者優良基準適合事業所の認定を取得し、千葉工場においては使用済み硫酸の完全リサイクルによる資源の有効活用を実現しています。これらの長年にわたる実績と技術力を礎として、2025年度もさらなる環境負荷の低減に向けた取り組みを着実に前進させることができました。

本環境報告書は2025年度の活動を企業の社会的責任［Corporate Social Responsibility（CSR）］の観点からまとめたものです。本報告書をご覧いただき、当社の取り組みへのご理解を深めていただくとともに、皆様からのご意見やご提案を今後の活動に活かしてまいりたいと考えております。

私たちは、創立以来培ってきた金属製錬技術・化学品製造技術を活かして、豊かな社会の実現と地域社会への貢献を目指し、CSR基本方針に掲げた「環境保全」を常に心掛け、CO_2排出量の削減、エネルギー効率の改善、再生可能エネルギーの導入、循環型資源利用の促進など、環境と調和した企業活動を未来にわたって継続してまいります。地域社会やお客様、パートナー企業をはじめとするステークホルダーの皆様とともに、持続可能な社会の実現に向けて力強く歩み続けてまいります。

今後とも弊社の活動に対しまして、ご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



お客様・社会の信頼に応えるために
コンプライアンスの徹底

「コンプライアンス宣言」の制定

当社は法令、社会規範、倫理、社内規程等を遵守し、公正・誠実な競争による事業活動を行うためにコンプライアンスの周知徹底を図っております。2007年にはコンプライアンスに対する会社としての考えを示すため「コンプライアンス宣言」を制定・公表しました。この宣言に基づき、当社はコンプライアンスを重視する企業風土を醸成しております。

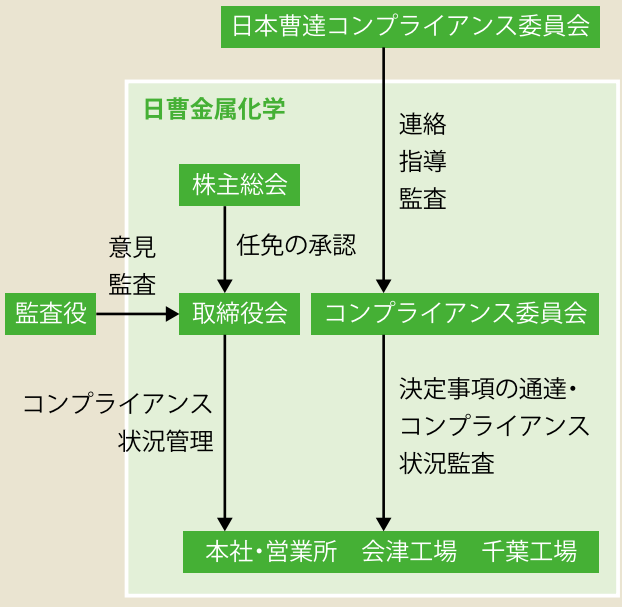
コンプライアンス体制

「コンプライアンス宣言」を具体的に進めていく為に、社長を委員長として役員全員で構成されるコンプライアンス委員会を定期的に開催しています。同委員会で基本方針・推進計画を定め、これに基づいた実施状況を確認し、コンプライアンスのＰＤＣＡ*サイクルを回しています。

また、コンプライアンスの意識・認識の強化を図るべく、昨年度は9月を「コンプライアンス強化月間」として各種の行事を計画実施しました。強調月間中は、社長メッセージを社員全員に配付するとともに、コンプライアンス意識を調査するアンケートの結果を周知しています。さらに、コンプライアンスについて例年社内外の講師による講演会を開催していましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の考えから講師を社外の方にお願いすることや大人数が集まることのリスクを避け、少人数による教育ビデオの視聴など各事業所で実施できることに取り組みました。このほか、社内募集した標語を日めくりにして毎日呼称する等の活動を行っています。

※ＰＤＣＡサイクル：Ｐｌａｎ（計画）、Ｄｏ（実行）、Ｃｈｅｃｋ（評価）、Ａｃｔ（改善）の略。計画を実行して評価し、改善することで次の計画につなげていく活動。

コンプライアンス体制



ＣＳＲ活動マネジメントシステム
ＣＳＲ活動の推進

ＣＳＲ推進委員会

企業の社会的責任を遵守しながら、事業活動を展開するための組織で全社ＣＳＲ活動の最高決議機関であり、委員長、委員長代理、委員、ＣＳＲ管理責任者、事業所ＣＳＲ管理責任者で構成されています。委員長は代表取締役社長が務め、ＲＣを含むＣＳＲの活動推進を統括し、全ての権限と責任を有しています。委員は、取締役、本社各部門長、工場長、その他委員長が必要と認めたものからなり、オブザーバーとして監査役の参加を要請しております。年2回、定期的にＣＳＲ推進委員会を開催し、経営層による見直しを行っています。

ＣＳＲ活動

当社のＣＳＲ活動は、今までのレスポンシブル・ケア（ＲＣ）活動の中で培った「自主的改善活動」を基に、「社会的な責任」を明確にするＣＳＲ活動を取入れ、下記の活動方針を定めました。

ＣＳＲ活動方針

1．マネジメントシステム 及び 組織統治
　「法令等を遵守し健全で透明な企業活動」を行うため、ＲＣ活動倫理を基本に具体的な目標設定、定期的な見直しにより、継続的な改善を推進します。ＣＳＲで云う７つの社会的責任の原則（説明責任、透明性、倫理的な行動、ステークホルダーの利害の尊重、法の支配の尊重、国際行動規範の尊重、人権の尊重）に則り事業活動を行います。

2．環境保全
　省エネルギー、省資源、廃棄物の削減・リサイクル、有害物質・地球温暖化ガスの排出削減、水資源の保全、生物多様性、生態系への影響の低減に努め、事業活動による環境影響を最小にします。

3．保安防災・ＢＣＰ
　情報収集と継続的な改善を基に重大な設備災害の防止に努め、安全・安心・安定な生産活動を推進します。ＢＣＰ（事業継続計画）の継続的な改善に取り組みます。

4．労働安全衛生
　操業技術の継続的な改善と主要設備の計画的な更新を通じ、事故・災害を起こさない職場づくりを推進すると共に、従業員が心身ともに健康で働けるよう、取り組みを行います。

5．物流安全・品質保証・消費者課題
　製品輸送に係るリスクを低減し、物流事故の未然防止を図ります。製造業務を見直し、製品とサービスの品質維持・向上を図ります。これまで培ってきた技術と知見を活かした事業活動を行い、顧客満足の向上を図ります。

6．化学品・製品安全
　製品及び取扱う化学物質が環境・安全・健康面に及ぼす危険・有害性を把握し、国内外の法律・基準・条約

を遵守するとともに、これらに含まれない社会的な要請に基づく規制にも対応し、事故・災害の防止に努め、顧客信頼・社会からの信頼を高めます。

7．社会との対話・コミュニティ参画
及び 開発・公正な事業慣行・コンプライアンス
環境・安全・健康について利害関係者と対話を行い、地域社会の発展の応援と環境保護・安全に関する諸活動に参加し、社会からの信頼向上に努めます。法的要求事項及び社会的要求を遵守した事業活動を行い、透明性を高めます。

8．人権・労働慣行
人権を尊重し、その重要性及び普遍性の両方を認識し行動します。法の支配及び社会の公正意識を認識して行動し、適切な労働慣行のもとで従業員がそれぞれの職業生活を通して、いきいきと活躍できるよう、取り組みを行います。

ＣＳＲ関連監査・審査等

当社は定期的にＣＳＲに関する監査を実施し、また外部審査等を受審しております。

■内部監査

・ＣＳＲ監査
事業所ＣＳＲ管理責任者が監査責任者となって、全部署を対象に環境、安全、品質の内部監査を実施し、工場のＣＳＲ活動を評価しています。監査結果はＣＳＲ推進委員会に報告され、次年度活動へ反映し、継続的に改善しています。

・親会社のＲＣ監査
親会社である日本曹達㈱の監査チームによるＲＣ監査を受審しています。

〈2025年度　監査実績〉
【日曹定期監査】　10月　会津工場

■外部審査・診断

9月にISO維持審査を受審致しました。発行された「改善の機会」、全てに対応を致しました。また、防災専門機関による設備安全に特化した「防災診断」も受審、ISO審査同様に改善に努めました。

2025年度　審査実績

会津	5月	防災診断
会津	9月	JCQA維持審査（ISO14001：2015年度版）
本社／千葉	9月	JCQA維持審査（ISO9001：2015年度版）

省エネルギー

「限りある資源を無駄なく活用する」ため、日々の活動を継続しています。

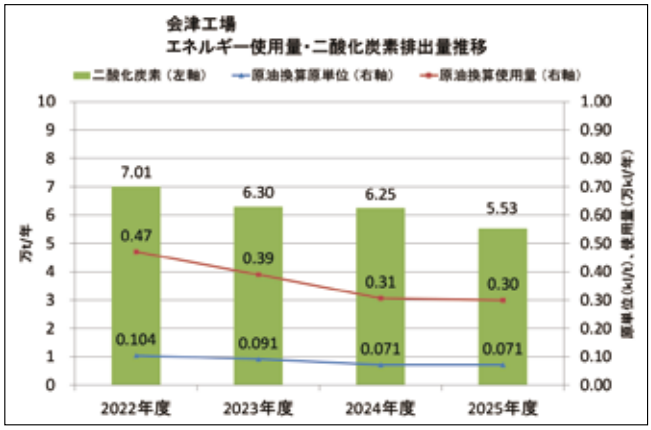
■エネルギー利用効率の向上

省エネルギーに積極的に取り組んでいます。

会津工場では廃油等を利用することで燃料を節減しています。また、2019年にボイラー燃料を灯油からＬＮＧに変換しました。

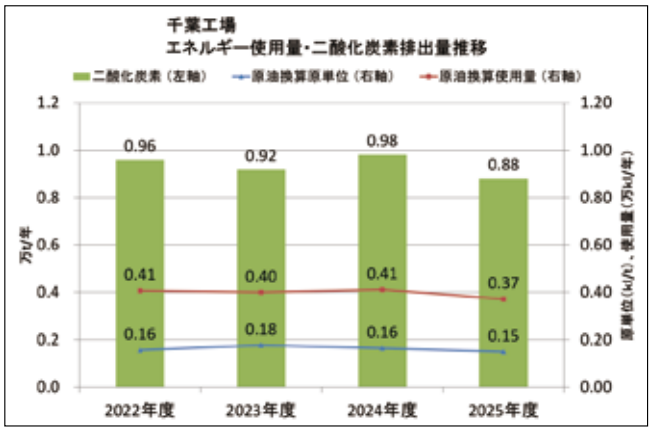
千葉工場では再生油を利用し燃料重油を節減しています。また、廃熱を利用したボイラーを使用しています。今後も省エネルギータイプの機器の導入を進め、エネルギー利用効率の向上を推進していきます。

【会津工場】エネルギー使用量・二酸化炭素排出量推移



※廃油の入荷減による処理量減が、CO2排出量の減少に寄与しました。

【千葉工場】エネルギー使用量・二酸化炭素排出量推移



※熱量が大きいC重油に切り替えた為、使用量が減少しました。また、重油使用量減少により炭酸ガス発生量が減少しました。

環境保護

大気や水質の汚染防止

地球の大切な資源である大気や水を守るために、環境負荷低減に取組むと共に、日々監視を続けています。

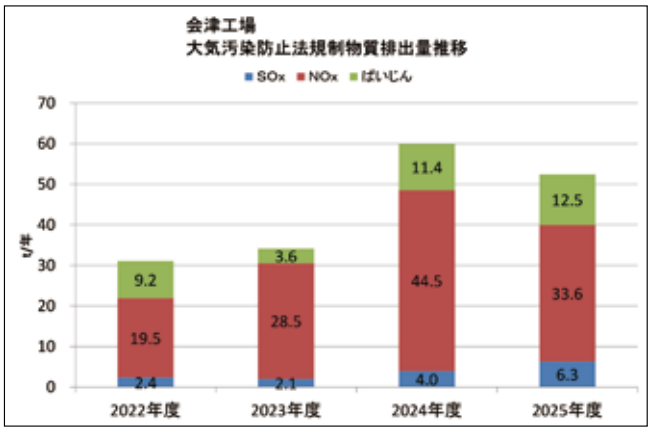
■大気汚染防止の取り組み

硫黄酸化物（ＳＯｘ）や窒素酸化物（ＮＯｘ）を低減するため、各工場で対策を実施しています。会津工場・千葉工場では、ＳＯｘ、ＮＯｘ、ばいじんをアルカリ洗浄と電気集じん機（ミストコットレル）で捕集して、大気への排出を抑制しています。

会津工場では、産業廃棄物処理炉から発生するダイオキシン類（ＤＸＮｓ）を高温で熱分解するとともに、燃焼ガスを急速冷却することで再合成を防止しています。

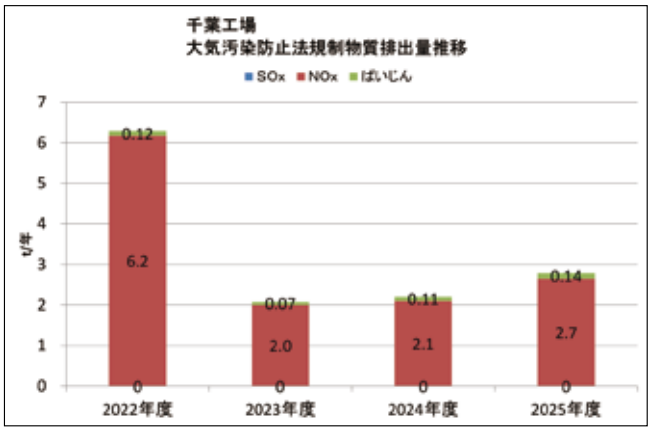
また工程内を監視計器等で常時監視し、迅速で適切な対応をとることで環境負荷の低減に努めています。

【会津工場】大気汚染防止法規制物質排出量推移



※産業廃棄物の種類と量により規制物質の排出量が変動します。

【千葉工場】大気汚染防止法規制物質排出量推移



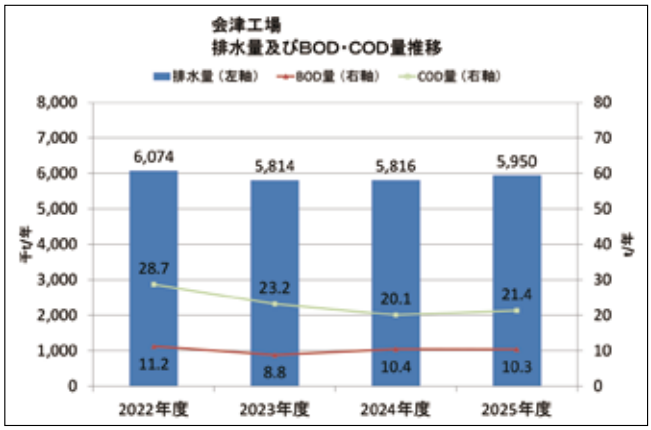
※昨年比と比べ、稼働日数が増加した為。

■水質汚染防止の取り組み

工場排水は、固形分を回収し、重金属等を除去することで放流排水の環境負荷を低減しています。

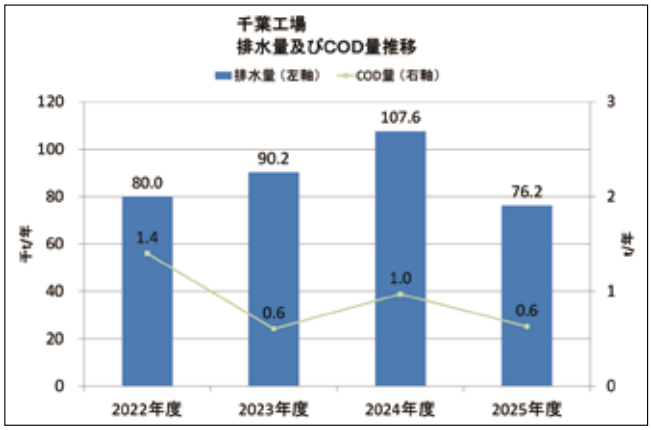
また、監視計器等で排水処理施設を常時監視し迅速で適切な対応に努めています。

【会津工場】排水量及びＢＯＤ・ＣＯＤ量推移



※排水中のＢＯＤは、取水中のＢＯＤ濃度の影響を受けます。

【千葉工場】排水量及びＣＯＤ量推移



※千葉工場の工場排水は、日本曹達㈱千葉工場に排水処理を委託しています。上記の数値は最終排水処理する前の当社工場出口の数値です。

■優良基準適合認定事業所　認定（会津工場）

※ 通常の許可基準よりも厳しい基準をクリアした優良な産廃処理業者を都道府県・政令市が審査して認定する制度です。

＊2016年度産業廃棄物処分業の認定を受けました。

＊2018年度特別管理産業廃棄物処分業の認定を受けました。

環境負荷低減に貢献する事業取組み

自社の環境負荷低減にとどまらず、よりクリーンな環境を目指して技術開発を進めています。

■パラジウムの回収・リサイクル

医薬品の合成過程では、パラジウム（Ｐｄ）が触媒として使用されることがあります。

当社は、非鉄金属製錬の知見を生かし、亜鉛の還元作用を利用することで、医薬品を製造している親会社の工程液からパラジウムを回収し、リサイクルを行っています。

■焼却法によるフロンの破壊

会津工場では横浜国立大学の指導を受け、ロータリーキルン炉（回転式焼却炉）がフロン破壊に適した設備である事を実証し、平成9年（1997年）にフロン破壊処理業者として許可を取得しました。以降、回収フロン（ガス・液）を混焼法により破壊（熱分解）処理しています。

■場外クリーンアップ～地域貢献活動～

【会津工場】

磐梯町町内道路の清掃活動

協力会社と合同で工場周辺の道路と磐梯町駅周辺の清掃活動を実施いたしました。

【千葉工場】

国道沿線の清掃活動

周辺企業と合同で、ボランティアサポート活動として国道16号沿いの清掃活動を実施し、周辺の美化活動に従事しております。

■防災診断

【会津工場】



■場外清掃活動

【千葉工場】



主な活動報告

労働安全衛生

労働安全衛生への取り組み

５Ｓを徹底するとともに各種パトロールによって安全活動状況をチェックしています。またリスクアセスメントによる事故・災害の発生防止に取り組んでいます。

■労働災害を防止し安全を確保

５Ｓ（整理、整頓、清掃、清潔、躾）の確保が労働災害防止の第一歩と位置づけ、全事業場で５Ｓ運動を展開しています。

また、労働安全のために「作業前の危険予知（ＫＹ）※1、作業中の指差呼称、相互注意、作業後のヒヤリハット抽出※2」を実施することで災害を防止しています。

※1　危険予知（ＫＹ）：作業に潜む危険性を予め予測し、対策を確認しておくこと。

※2　ヒヤリハット抽出：作業中等、事故が起きそうな状況に遭遇しヒヤッとした、ハットしたことを記録し、危険源として皆で共有することで労働災害を未然に防ぐ活動。

■職場パトロールの強化による安全活動の推進

＜各工場での取り組み＞

【会津工場】

毎月の安全衛生委員会の後、委員による場内安全パトロールを実施しています。

また、各職場での５Ｓパトロール、定修パトロール等により不安全箇所、不安全行動の撲滅に努めております。その他、安全通信や類似災害防止広報を発行し、全従業員への安全に関する啓蒙活動も行っています。

【千葉工場】

毎月実施している安全衛生パトロール、定修時における定修パトロールを通じて不安全行動等の防止に努めております。また、設備巡視パトロールも毎日実施し設備保全に努めております。

■２０２５年度の労働災害データ

労働災害発生件数の推移

年度		2022	2023	2024	2025
会津	社員	2	0	0	0
	協力	0	0	2	0
千葉	社員	0	0	0	0
	協力	0	0	0	0

※労働災害：2022年度社員 転倒災害（休業） 社員 薬傷災害（休業）
2024年度協力 接触災害（休業）熱傷災害（休業）

労働災害強度率（社員）の推移

年度	2022	2023	2024	2025
会津工場	0.135	0.000	0.000	0.000
千葉工場	0.000	0.000	0.000	0.000

労働災害強度率＝労働損失日数＊／延労働時間×1,000時間当たり
＊身体障害を伴わない労働損失日数＝休業日数×（300/365）

ご当地情報（磐梯まつり）



会津工場からほど近い、夏の猪苗代町を熱く彩る「磐梯まつり」。この祭りは、明治21年（1888年）の磐梯山大噴火による犠牲者を追悼するため、昭和23年に始まりました。そこには、殉難者の「魂をなぐさめる心」と、今の「誕生に感謝する心（五穀豊穣・町民安寧）」という二つの大切な想いが込められています。

現在は毎年7月中旬、亀ヶ城公園周辺を舞台に「火の祭り」として開催され、中でも町を最大の活気で包むのが「山車（だし）とみこしの競演」です。地元の各団体や子供たちが、歴史ある自慢の山車を引き回します。

町中に響き渡る賑やかなお囃子の音色と、猪苗代中学校の生徒が神輿を担いだ時の、威勢の良い掛け声は周りのボルテージを最高潮に高め、沿道の観客と引き手が一体となり熱気に包まれます。

さらに、磐椅神社から授かった御神火のたいまつを掲げて、町民が夜の町を練り歩く「火の祭典」も必見です。

伝統の山車が映し出す地域の絆と、夜空を焦がす情熱の炎。猪苗代町へお越しの際は、ぜひこの熱気を味わってみてはいかがでしょうか。

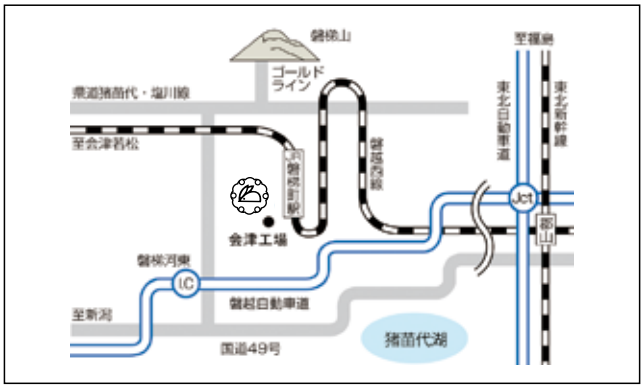
各工場の紹介

会津工場

会津工場は、福島県の名峰磐梯山の南、日橋川沿いに位置し、自然に大変恵まれた地域にあります。

大正5年（1916年）、高田商会が創設した亜鉛製錬工場を昭和3年（1928年）に日本曹達が継承、その後亜鉛製錬を主要事業としてきました。現在では産業廃棄物処理、フロン破壊処理、各種亜鉛合金の製造を行っております。

今後とも地域の皆様と積極的にコミュニケーションを図るとともに、環境に配慮した安全最優先での操業を継続して行きます。





取締役会津工場長
加藤 雅彦



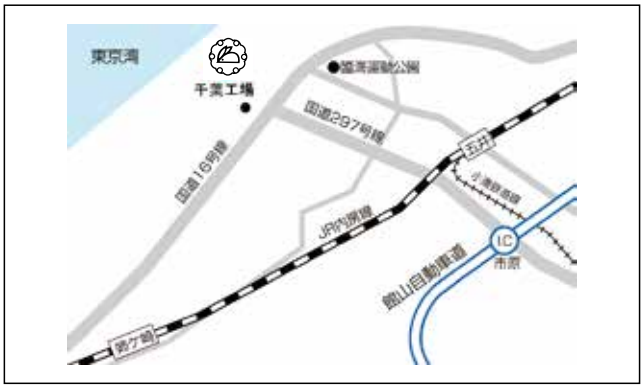
千葉工場

東京湾岸の南北約40キロに約200の事業所が立地している、国内最大規模の京葉臨海コンビナート地区にあります。

二酸化炭素の排出削減の取り組みを加速させている地域でもあります。

千葉工場は、昭和51年（1976年）に使用済み硫酸のリサイクルを目的に創業しました。

大気汚染物質や産業廃棄物を削減するとともに、省エネを推進することで、事業活動での環境保全に努めて参ります。





千葉工場長
綿井 敏幸



日曹金属化学株式会社
NISSO METALLOCHEMICAL CO., LTD.

この報告書へのお問い合わせは下記までお願いします。

日曹金属化学株式会社　生産技術部

〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町21番7号 HF日本橋兜町ビルディング　TEL（03）4586-7890

URL http://www.nmcc.co.jp